令和4年度　福井南特別支援学校　学校関係者評価書

（問）（1）学校評価の目標に対する成果（達成度）や結果の分析は適切か。 （2）その他（学校運営全般に関するご意見など）
（意見を聞いた方） 学校関係者評価委員：保護者代表8名、同窓会保護者代表1名、事業所代表1名
（意見欄） （1）目標に対する成果および結果の分析について 〇人権教育・生徒支援、保健・安全 ・個人情報保護の面があるからかもしれないが、人権や安全教育の児童生徒への取組について、便りやHPでの掲載が少ないと感じた。日ごろの活動についても掲載するとよい。 〇地域交流 ・今年も「地域交流」の交流の相手先の評価が100％でとても素晴らしい。 〇全体（総括） ・どの項目も判定基準が達成されていて素晴らしい。教職員が児童生徒に合った目標を親の希望を含めて考え、それを達成させるために日ごろから一生懸命努めてくださっているおかげだと思う。 ・どの項目も教職員の方々は精一杯にそれぞれの課題に取り組んできたという意識がうかがえ、保護者の方々や生徒本人からも、それらの課題に対して一定の満足度が得られたという結果であると思う。今後も学校から保護者に向けて日々の学習内容や児童生徒の様子についてしっかりと情報を発信し、連携して個々の児童生徒の学びや育ちを支える体制の強化に努めてほしい。そして、「どう伸びたか」を伝えていただくほかに、今後社会に出ていく上で「どう伸びていくのが望ましい」という課題の点も伝えていただき、保護者とともに支援していただきたい。
（2）その他（学校運営全般について） ・児童生徒の発達段階や特性を踏まえつつ、小学部、中学部、高等部の一貫性のある連携した学びや育ちを支える体制の強化につなげてほしい。そして高等部においては学校、保護者、福祉事務所との連携を充実していってほしい。 ・教職員の方々が児童生徒一人ひとりに寄りそうことによって、教職員の負担が多くなっていないかと心配になる。人員を増やすなどの余裕があると良いが。 ・暖房があまり効いていない。寒いと体調を崩しやすいので暖かい環境で学習できるようにしてほしい。 ・分教室との交流が年1回では少ないように思う。宿泊学習や修学旅行は一緒に参加するので、学期ごとに1回は開催できるとよい。以前は分教室の生徒が文化祭に参加し、「城山」にも掲載されていた。 ・コロナ禍で大変な中、行事など工夫してできる範囲で開催してくださり良かった。講演会なども参加したかったが、zoom に慣れておらず諦めてしまった。親も ICT のことをもっと勉強しなくてはいけないと思った。 ・新型コロナウイルス感染症が5類になるので、今までできなかった交流のある学習を積極的にしてほしい。 ・コロナ禍になって3年が過ぎ、制限を緩和する方向になり対応が難しくなると思うが、これからもがんばってほしい。
（学校関係者評価を踏まえた今後について） 令和5年度は、新型コロナウイルスの感染対策と教育効果が大きい活動の推進とのバランスを取りながら、自立と社会参加に必要な知識と技能、態度を身に付けた生活力のある児童生徒の育成に繋がる支援を行っていきたい。